

東京商工リサーチ・県内住宅販売ランキング

戸建ては大成ホーム首位

共同住宅は大鏡建設

東京商工リサーチが21日、県内ハウスメーカーの販売住宅数・分譲マンション契約実績ランキングを発表した。戸建て部門は大成ホームが115戸、共同住宅部門では大鏡建設の23棟がそれぞれ1位。大成ホームは3年連続トップとなった。分譲マンションの契約実績では、エールクリエイティブが11戸でトップとなった。対象企業の販売総数は3部門で前年より増加。同支店は、区画整理が進んだことや交通アクセスの改善、住宅ローンの低金利なども販売増を押し上げた要因とみている。

■ 県内ハウスメーカーランキング：戸建て

順位	商号	所在地	シリーズ名称	販売戸数	前年比	売上高(千円)	主仕
1	大成ホーム	浦添市	うるま/守礼/王朝	115	▲12	3,433,885	CB
2	アイムホーム	北谷町	ランドスター/クローバータウン	82	▲11	2,560,635	RC
3	徳里産業	嘉手納町	コンフォルト	82	▲24	2,671,964	WRC
4	沖建住宅	那覇市	スタンダードタイプ/スカイガーデン	71	▲5	2,822,675	RC
5	沖興建	那覇市	エンジョイホーム	65	▲23	732,474	CB
6	新洋	浦添市	おきなわ/クール/コラルホーム	38	▲5	4,544,806	RC
7	丸善組	うるま市	丸善ホーム/丸善スチールハウス	37	▲8	1,118,804	RC
8	住太郎ホーム	沖縄市	太郎/花子	36	▲0	1,350,305	木造
9	福地組	嘉手納町	サンパティエ	35	▲16	2,848,484	RC
10	未来企画	南風原町	—	32	▲8	1,076,283	CB
11	りゅうせき建設	浦添市	びたホーム/イズライフ	32	▲1	2,986,042	S
12	謝花組	浦添市	ADD ONE/ストリート	30	▲9	1,570,066	RC
13	ホーム21	那覇市	ゆとりプラン/ハイグレードプラン	30	▲4	715,598	RC
14	沖産	宜野湾市	AM・JYU・U	28	▲1	1,815,146	RC
15	池原建設	読谷村	ウインズ	27	▲7	1,028,683	RC
16	大和住宅産業	浦添市	Dr. ホーム	23	▲0	409,133	RC
17	T&T	那覇市	フロンティア/コンパクトハウス	23	▲2	723,389	木造
18	大成開発	那覇市	—	22	▲3	1,005,970	RC
19	ARCHITECTY DESIGN CAURUS	北中城村	—	19	▲9	975,153	RC
20	シンケンハウス	うるま市	シンケンハウス	14	▲2	144,891	RC
21	大晋建設	那覇市	ミオポルト	13	▲8	3,302,644	木造
22	ハンエイ	沖縄市	W>Rプロト	13	▲6	504,015	木造
23	カワバタ	沖縄市	ニュースター/ベースシック	11	▲0	434,814	S
24	幸福ホーム	那覇市	幸福スタイル/レンガ積みの家	10	▲2	205,097	木造

住宅構造のRC(WRC含む)は鉄筋コンクリート、CBはコンクリートブロック、Sは鉄骨(軽骨含む)

■ 県内ハウスメーカーランキング：共同住宅

順位	商号	所在地	シリーズ名称	販売棟数	前年比	売上高(千円)
1	大鏡建設	那覇市	—	23	▲6	3,144,738
2	沖建建設	那覇市	オアシス	20	▲4	2,233,551
3	大匠アーキプロ	那覇市	—	19	▲2	1,717,918
4	タマキハウジング	那覇市	ウイングシャトー	12	▲3	1,562,098
5	徳里産業	嘉手納町	—	12	▲11	2,671,964
6	福地組	嘉手納町	ふくくくマンション	10	▲9	2,848,484
7	志茂建設	糸満市	Win&Win	10	▲2	1,987,518
8	アイムホーム	北谷町	—	9	▲1	2,560,635
9	大晋建設	那覇市	ミオトップ	9	▲2	3,302,644
10	沖興建	那覇市	—	8	▲0	732,474

■ 県内の分譲マンション契約実績(自社施工)ランキング

順位	商号	所在地	シリーズ名称	契約戸数	前年比
1	エールクリエイティブ	那覇市	ワイズマンション	118	▲29
2	ミルクエステート	那覇市	ミルクマンション	101	▲24
3	アレサンスコーポレーション	大阪府大阪市	アレサンスロジエ	86	▲3
4	大京	東京都渋谷区	オアシスマンション/グランドパレス	75	▲94
5	富士開発	神奈川県横浜市	Fステーション	75	▲30
6	タマキホーム	那覇市	ウイングシャトー	61	▲1
7	住太郎ホーム	沖縄市	ベアーズコート	52	▲28
8	大和ハウス工業	大阪府大阪市	アルカレ/アルミスト/リュクスタワー	42	▲9
9	第一交通産業	福岡県北九州市	グランドパレス	32	▲15
10	沖建住宅	那覇市	ディアコート/アーバンパレット	25	▲8
11	東豊	浦添市	コンフォート	23	▲12
12	松山産業	那覇市	フリーベル	22	▲8
13	フランススタイル	那覇市	レーヴ	21	▲2

※大京と大和ハウス工業はJVによる持分での販売があり、その比率による戸数を含みます。

ランキングは県内に本社があり、戸建て・共同住宅の自社設計・施工を手掛ける企業が対象。分譲マンション(自社施工)は県内で分譲を手掛ける企業(県外企業含む)が対象。自己申告ベースで、アンケートに回答した企業を集計した。販売の集計は2011年10月、12年9月。ランク入り数は戸建てが36社、共同住宅が27社、分譲マンション13社。

戸建てでランク入りした企業の販売総数は961戸で、前年比14%増。県内新設住宅着工戸数で持ち家・建て売りの28%を占めた。前年比で販売戸数を使えばしたのは23

社で、減少が9社。増加数が最も多かったのは2位の徳里産業の24戸だった。建築構造別では、鉄筋コンクリート住宅を主とする企業が24社で最多、木造が6社、コンクリートブロック4社、鉄骨は2社。木造住宅を主とした企業は5社が販売を伸ばしており、同支店は「デフレ化でコスト志向などから需要の広がりがうかがえる」としている。

共同住宅でランク入りした企業の販売総数は197棟で4.8%増。前年より販売数が増加したのは11社で、減少は9社。増加数が多かったのは徳里産業の11棟、大鏡建設

の6棟、大成ホームの5棟だった。1位は大鏡建設、2位沖建建設、3位大匠アーキプロ。分譲マンションの契約数は733戸で、10.7%増。増加数が最も多かったのは富士開発(神奈川県)の30戸。次いで、ランキング1位のエールクリエイティブが29戸で、自社単独物件を主体に県外大手との提携による共同物件も手掛けて実績を上げ、都市部や中部地区などでエリアを広げて好調に販売を続けている。

冒険王・ジュネ 被災孤児に寄付 シャツ販売で10万円

就職情報誌「ジエイウォー」を発行する冒険王佐和田安行代表と「バイカシ」ブランドを展開する服飾メーカーのジュネ(吉田康秀代表)は21日、8月から販売しているシャツの売り上げの中から10万円を福島県相馬市震災孤児等支援金支給基金に寄付した。シャツの販売は、2社が企画している福島県の復興支援で「福島つながりプロジェクト」の一環。同プロジェクトは、ジュネがデザインを手掛けた

21日 0枚のう

沖縄へ冬のブルメ旅!!

沖縄観光コンベンションビューローの安里繁信会長と真飲食業生活衛生同業組合の富山政順理事長らが21日、県庁で会食し、沖縄の冬の場の旬の食材をメニューに取り入れた飲食店とタイアップした「冬ブルメキャンペーン」をPRした。審査で厳選した離島を含む102店舗で、27日から車エビ、マグロ、

キャンペーンをPR

島野菜の食材を使ったメニューを用意。観光客限定でブルメ券も発行し、各店舗で用意する特典も受けられる。来年2月末まで。2012年度沖縄観光冬キャンペーンは、12月27日から2013年2月28日まで。安里会長は「観光をPRするたためにも食はキーワードとなる。沖縄に来て沖縄のおいしいものを食べることで、誘客につなげたい。季節の食にこだわり、付加価値の高い食を提供することで観光地の底上げにつなげたい」とアピール。富山理事長も「旬の食材を生かしたメニューで、生産者、観光客にも喜んでもらえる」と確信している。来年2月末まで実施。推薦店舗102店では、冬ブルメをアピールするのぼりやステッカーなどでPRする。



「冬ブルメキャンペーン」をPRする安里会長(中央)。21日、県庁

米下院野党案採決せず

減税延長 トップ協議再開へ

【ワシントン共同】米下院は20日、年末が期限の大型所得減税について、年収100万円(約8400万円)を下回る層で延長する共和党の独自法案の採決を断念した。野党共和党は下院で多数を占めるが、富裕層の減税打ち切りを反対する保守派を説得できず、採決に必要な支持を得ていないことがわかった。

法案は、減税失効と歳出削減が年明けに重なる「財政の崖」の当面の回避が目的。減税延長対象を年収40万円未満と提案するオバマ大統領は拒否権行使を表明していた。法案を可決した上で大統領に妥協を迫るつもりだった共和党のペイナー下院議長は苦しい立場に追い込まれた。下院で今後法案を可決させるに

は超党派の協力が必要となる。ホワイトハウスは20日夜、「大統領は協議妥結に向け議会と協力する」との声明を発表した。オバマ氏とペイナー氏は21日にトップ協議を再開し、クリスマス前の合意を目指す。大型所得減税の延長対象や社会保障関係費の削減規模が焦点。これまでの協議で、オ

バマ氏は財政赤字削減に向け歳出入ともに向こう10年間で1兆2千億規模を確保すると主張。ペイナー氏は、政権側の提案内容では増税などによる歳入規模は1兆3千億に膨らむ一方、歳出は9千億に程度しかカットされないと訴えていた。

連邦政府の債務は来年3月に上限を超える見通しだが、これについてもオバマ氏は債務2年分の上限引き上げを主張。ペイナー氏は1年分しか認めない考えだ。

双方は21日に合意できなければ週末も協議を続ける。合意の場合も議会手続きはクリスマス後までかかる見込み。

現地銀行導線に 東アジア進出を 海外展開へ渡邊氏講演

アジアなど海外市場の販路開拓や観光客の取り込みなどを目的する県内中小企業を対象にした「海外展開セミナー」が21日、那覇市で開かれ、アジア・メデアプロモーション代表の渡邊一氏が「経済発展とリスクをにらんだ東アジア海外展開のこころ」と題して講演した。

3社 二葉

神戸—那覇線 ソラシド、来年

スカイネットアジア航空(ソラシド)エア、宮崎市・高橋洋社長は21日、2013年6月1日から神戸—那覇線に就航すると発表した。1日3往復6便で、スケジュールは1月下旬に発表。使用機材はボーイング737-800(174人座)と同737-400(150座)で、初年度の日稼稼働率は60%。神戸線は全日本空輸、スカイマ

解度や晴「成長を」理解しを販促進下率にに「と議